



兵庫県立西脇工業高等学校同窓会 | 緑窓会会報



緑窓会マーク

工業祭のご案内



日時

令和元年
11月2日(土) 11:00~
展示・模擬店(一般公開)

CONTENTS

ご挨拶	2
活躍する同窓生	3・4
ゴルフコンペ開催	4
新学科の紹介・学校だより	5
活躍する部活紹介	6
部活動戦績	7
進路指導部	8
会計報告	8
掲示板	8
編集後記	8

ありがとう
平成

よろしく令和

緑窓会(同窓会) 総会のご案内

みんな集まろう!



日時

令和2年
4月11日(土)
10:00~

場所

緑窓会館

同窓会ホームページリニューアルしました!

伝 統

緑窓会会長 村上 龍夫 (8回生 電気科)



緑窓会会員の皆様におかれましては、日々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃は、兵庫県立西脇工業高等学校の発展、並びに緑窓会の運営におきまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

母校は昭和38年に創立し今年57年を迎え、その間に社会情勢は著しい変化を見せ、いろんな困難にも立ち向かい激動する時代の歴史を作り上げてきました。我々は生徒綱領として掲げられております「自立・創造・誠実・勤労」のもとに優れた英知と体力、そして自然を大切に、心豊かな人創りを教育の基で育った卒業生は、現在の厳しい経済状況の中でも、西脇工業高等学校の卒業生として胸を張り頑張っておられる中、緑窓会会員の皆様方に残念な報告がございます。もうすでにご存じかと思いますが、兵庫県教育委員会より発表されました来年度よりの生徒募集の件でございます。新聞紙上でも発表されました。

発足当時からありました伝統ある工業化学科の募集が無くなります。ただし工業化学の学びは全科に取り入れられ今後も生かされていきます。また、昭和62年度より設置されました情報繊維科も科名を変え内容も改め「ロボット工学科」になり西脇工業高等学校が新たな一歩を踏み出します。我々卒業生とし

ては、伝統ある工業化学科がなくなることについては本当に残念でございます。いま以上に少子化が進んでも、生徒募集内容が変わらないように特色のある西脇工業高等学校づくりに協力し、工業高校本来の技術に即応する知識と技術、技能の習得と社会の変化に対応できる適応力を身につけ「ものづくり」に関して、全国の工業高等学校の模範となるような学校づくりを目指して躍進されるお力添えが出来ればと思っております。

いよいよ来年には東京オリンピックが開催されます。競泳競技では、第54回工業化学科卒業生の幌村 尚さんは、男子200mバタフライで世界に飛躍できる可能性を秘めている選手であります。陸上競技では、第55回情報繊維科卒業生の田中希実さんは、女子長距離界のホープの一人者であります。東京オリンピックでは競泳、陸上種目を含めた日本代表選手として幌村 尚さん、田中希実さんが活躍されますことを期待しております。これからも後輩たちの活躍にできる限りの支援をしていきたいと思っております。東京オリンピックが楽しみです。

最後になりますが、緑窓会の総会が毎年4月の第2土曜日に緑窓会館において開催いたします。会員皆様方の出席が不可欠でございます。是非一度ご参加いただき、貴重なご意見をお聞かせ願うとともに、これからの緑窓会（同窓会）活動に会員皆様方のさらなるご支援、ご協力をお願い申し上げ、会員皆様方がご健勝で益々ご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。

GREETING SENTENCE

ご挨拶

校長 別所 博之



緑窓会の会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は、本校の教育活動に、多大なるご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、あらためて緑窓会の会員の皆様を支えられ、本校が今日までの歩みを続けてこられたのだと実感する今日この頃です。

私は、今年度4月より県立のじぎく特別支援学校からまいりました校長の別所博之と申します。

微力ではございますが、これまで本校に関わってこられた緑窓会の会員の皆様をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様のご期待にお応えできるよう、教育活動の充実・発展に力を尽くしたいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。

さて、兵庫県では魅力ある学校づくりのために高等学校の既存学科の見直しや改編に取り組んでおり、本校におきましても、来年度入学生より機械科、電気科、総合技術科、ロボット工学科の4学科となり、新たな歩みを始めることとなりました。新4学科への工業化学科の学びの融合、知的財産権に関する学びの拡充などを行い、企業を含め地域と関わりながら教育活動を推進してまいりますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今、教育界では、Society5.0という社会の到来を見据え、教科固有の見方・考え方を働かせて、自分で考えて表現する力、対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し、新しい解や納得解を生み出す力等が必要だと言われております。

「不易流行」ということばがありますが、この「流行」の

部分をしっかり捉え、生徒にそれらの素養を育てていけるよう教育活動を展開してまいりたいと思っております。

ただ、「流行」だけでなく「不易」の部分もしっかりと意識し、「流行」と結合させていくことが重要と考えています。

本校では、「時を守り、場を清め、礼を正す」を基本的な生活習慣確立の生活三原則としています。

生徒には、単に「時間を守り、掃除をきちんとし、礼儀正しくする」ということだけでなく、「時を守る」には、相手を尊重する。「場を清める」には、気がつく人になる、心を磨く、謙虚になる。「礼を正す」には、自らの姿勢を正すなど、そのひとつひとつに込められた意味を考え、自分を高めて欲しいと伝えています。

これらは、どれだけ時代が急激な変化をしていこうとも、変わりなく大切な「不易」の部分です。

着任以降、学校外の教育関係者や企業、地域の方々などとお話をさせていただいて感じることは、本当に多くの方々から本校生を好意的に見ていただいているということです。これは、このような生活三原則を生徒ひとりひとりが自覚して行動し、それが後輩へと受け継がれていっていることが大きな要因ではないかと思っております。

ただ、忘れてはならないのは、緑窓会の皆様をはじめとする多くの皆様からの温かいご支援が、生徒や教職員の意識を高め、その実践に繋がっているということです。

これからも皆様から応援していただける西脇工業高校であり続けられるよう生徒と共に歩んでいきたいと思っておりますので、今後もお気づきの点などがございましたらご助言賜りますようお願い申し上げます。

最高の学び舎「工業化学科」

工業化学科 第1回生 森脇 昇太郎さん

平成最後の年の「今年の漢字」は「災」であった。今年は時代も変わり「令和」となり、「災」のない、明るい話題の多い平和な年になることを願いながらのスタートだった。そんな5月のある日、事務局から懐かしい声での電話をいただいた。ところがその内容は、寝耳に水の如くの驚きであった。

後日早速、その経緯を聞くために工業化学科を訪問した。私自身は、科名変更か授業内容の変更かと考えていたが、工業化学科の学びを機械科・電気科・情報繊維科（ロボット科）に取り入れることで「工業化学科が無くなる」ということであった。時代の流れとはいえ、非常に残念な思いであった。私自身の在職中も工業化学科の学びについては、基礎・基本を重視しながらもバイオ化学やコンピュータを使った最先端技術の授業など学科内容の変更等々、議論してきただけに、半世紀以上存続してきた工業化学科が「廃科になる」とは思いもよらなかった。

思い起こせば、昭和37年まで私は西脇高等学校工業化学科の教室で2年間授業を受け、昭和38年からは新設された西脇工業高校で残りの1年間を過ごした。工業化学の専門教科では、「無機化学要論」や「有機化学要論」という大学で使用される専門書を使って授業が行われ、工業化学科の先生方から常に叱咤激励されて過ごした。その甲斐あってか、当時の工業化学科は日本工業化学教育研究会主催の全国工業化学学力テストで、全参加校90校中第2位の成績を収めた。その前年は第1位の成績であった。新設されたといっても、校舎は本館のみで、実習棟はまだ完成しておらず、実習の日には、西脇高等学校の以前から使っていたのこぎり屋根の実習棟に出かけて行って実験実習を行ってきた。白衣を着て、丸底フラスコを振り回しながら化学反応を確認した記憶が非常に懐しく、何かしら研究心をあおられる光景でもあった。

在職中、常々生徒達に話してきたことは、「3Cの精神」であった。工業化学科・科別章の「C」は化学の「CHEMISTRY」の頭文字であることから「CH」で始まる「CHANCE」「CHALLENGE」「CHANGE」の3語を集め、『人生いつかは「チャンス」がある。困難や失敗を恐れず「挑戦」しよう。そして前向きに「変化」しよう。そして西脇工業高校・工業化学科で学んだことに「誇りをもって」生活しよう』と。思えば何人と語り合ってきたことだろう。西脇工業高校「工業化学科」は、永遠に消え去ることのない、みんなを、そして私を育ててくれた最高の学び舎である。



高校での思い出と現在

機械科 第54回生 武次 春哉さん (関西国際大学 硬式野球部)

私は、西脇工業高校を卒業した後、関西国際大学に入学し、現在は大学で硬式野球部に所属しています。今現在も、学生として日々生活しています。西脇工業高校時代は、挨拶やごみ拾いといった当たり前のことを徹底的に指導して頂いたという印象がとても強く心に残っています。また、私は機械科だったので、周りが男ばかりで賑やかで、体育祭や工業祭などといった行事がとても面白かったことを今でも時々思い出す時があります。

今現在大学3年生ということもあり、就職活動が少しずつ始まりつつある状況です。就職活動では、もちろん大学での学力、成績等が重点的に審査されるとは思いますが、やはりそれ以前に、挨拶や礼儀といった部分が非常に大事であり、当たり前であるこの部分ができていないと企業のほうから良い報告をもらえなかったりするので、私は、そういった面でも西脇工業高校で学べたことを本当に良かったと思っています。

私は、小学1年生から野球を始め、現在に至るのですが、高校を卒業するまでに全国大会や近畿大会といった大きな舞台に立ったことは、小学6年生の時に1度だけで、あまり縁がありませんでした。しかし、2018年の9月から始まった大学でのリーグ戦で優勝することができ、11月に行われた明治神宮大会に出場することができました。また、その大会でも大学史上最高成績となるベスト4まで駆け上がることができました。大きな舞台でとても緊張しましたが、それ以上に楽しい気持ちの方が勝っており、最高の経験となりました。

また、12月に行われた侍ジャパン大学代表候補強化合宿にも選んで頂きました。結果は落選してしまいましたが、たくさんの素晴らしい選手、高校の時、テレビの甲子園の試合で見た有名な選手と一緒に練習させて頂き、とても刺激を受けました。それが今の自分の野球に対する向上心に繋がっていると思います。

今現在の目標は、大学日本代表になることと、チームを日本一にできる投手になることです。昨年の経験から、私はとても大切なことに気づけたと思っています。それは、必ずできる、やれると思いつつやっていると成功の方向に進んでいくということです。だから、自分をもっとやれるんだと思いつつ自信を持って日々努力することが一番大切なことだと思います。これからも周りの方たちへの感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思っています。

応援よろしくをお願いします。



我人生 西脇工業

工業化学科 4回生 荻野 由信さん



1964年(S39年)に憧れの工業化学科に入学し1967年(S42年)3月に4回生として卒業しました。工業化学科を選んだ理由は、兄が旧西脇高校工業化学科(西脇市上野町)の卒業生であったのが一番です。当時の工業化学科と言えば、工業物理化学部門で全国の1・2位を競うトップレベルだったように記憶しています。その後、学校再編で現在の地、西脇市野村町に新しく西脇工業高校として誕生しました。憧れだけで入学した私は、学習レベルの高さに驚き苦悩と後悔の毎日でした。2年生からは、専門教科が大学2年生用の教科書に変わり、更に7時間授業の日も多くなり、お昼は実験室で弁当を食べながらデータ作成に没頭の日々を送っていました。

私の大好きな工業化学科は、長い伝統と歴史があり、就職・大学進学と選択肢は群を抜いている学習能力の高い学科で、襟元に輝く「C」の科章は、西脇工業高校の誇りでもありました。しかし、定期考査の度に平均点を下げている自分は非常に肩身の狭い学生時代でした。

私は、多可郡黒田庄町(現在西脇市)の出身なので、家から学校まで14kmの自転車通学、あるいは、谷川線に乗り野村駅から徒歩で学校まで通っていました。駅から学校までは、舗装もされておらず雨の日にはズボンの裾が泥だらけになった苦い記憶があります。

1964年には、東海道新幹線が開通し、10月16日と17日に「東京オリンピック」を兄と二人で観戦に行きました。世界トップレベルの競技を目の当たりにし、何ごとにも甘くマイナス思考だった自分を大きく変える衝撃的な瞬間でもありました。また、その時に最前列に座り古いカメラで世界のトップアスリートを夢中でシャッターをきり、その時の写真が今では私の宝物になっています。

そのお陰で、卒業してから半世紀を過ぎた今でも変わらず西脇工業高校が大好きでなりません。その証拠に専門の教科書は殆ど書棚に大切に保管してあります。

西脇工業高校の先生の印象は、先生方の指導力の高さは勿論のこと、生徒との間の取り方が上手で、いつも同じ目の高さで接していただき授業以外でも親しみを持って色々な事を相談できる先生ばかりでした。特に挨拶をするとすぐに返事が返ってくるという事から、生徒のための先生が凄く身近に感じる雰囲気があったように思います。後々わかったことですが、このような雰囲気が生徒のやる気を起こさせる日本有数のトップ校に育てる要因があったのだと思います。3年生になり、将来の目標も意識するようになりました。指導者を志すために、3月に慌てて日本体育大学を受験し、先生方のお陰で無事に合格通知を頂くことも出来ました。4月からは5時の早朝訓練に始まり夜10時の消灯まで息をつく間もない忙しい日々を過ごし、4年間の大学生活を終えました。昭和46年4月より宇治高校の体育教師として就任し、保健体育の指導と、クラブ活動ではソフトボールと陸上競技部の指導に携わりました。ソフトボールでは全国インターハイ3位、2009年からは、法人合併により立命館宇治高校陸上競技部の専任監督に就任し全国高校駅伝では、男子を11回(最高3位)、女子30年連続出場(優勝3回、入賞回数日本一)、オリンピックや世界陸上にも出場する選手も数多く育ててくれました。しかし、苦しいとき悲しいときに必ず後押ししてくれたのは、「緑が丘に青雲のなびく校舎よ綾錦・・・」という母校の校歌です。70歳を過ぎた今でもしっかり歌えますし、私を育て導いてくれた工業化学科は一生の自慢です。

今年4月からは、陸上競技部総監督として立場を少し変えながら、子供と指導者育成に尽力を続けています。ここに至るまでには沢山の方々との出会いがあり勉強をさせて頂きました。その中でも大沢仁先生・渡辺公二先生・足立幸永先生には他ならぬお世話になりました。「本当にありがとうございました。」

先日新聞で最愛なる工業化学科が無くなることを目にしましたが、正直時代の流れとは言え残念でなりません。しかし歴史と伝統は永遠に不滅です。学科改編で新しく「ロボット工学科」が立ち上がるそうですが、世界に羽ばたき社会的貢献に役立つ第一線の学科に成長されることを祈念しています。

第13回 緑窓会ゴルフコンペ開催

4月29日(昭和の日)西脇カントリークラブにて、幅広い年齢層のゴルフ仲間が集まり12組40人で、ワイワイと本当に楽しい時間になり大盛況のうちに終了しました。

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。来年は多くの友人を誘ってご参加して頂ける事を楽しみにしています。参加希望者の皆様は、同窓会HPより申し込み(R元年より)をお願い致します。

優勝 市橋 敬典(旧職員)

準優勝 佃 匡彦(13回生 工業化学科)

3位 西山 忠良(16回生 機械科)



次回、第14回は令和2年4月29日(昭和の日)に開催いたします。参加希望の方は、事務局へご連絡下さい。
事務局: TEL 0795-22-5506

新 学科の紹介

【ロボット工学科】

令和2年4月スタート

現在、工場のロボットや掃除ロボット、自動運転車に挙げられるような高性能な製品には機械・電気・情報を複合的に取り入れられています。

本学科では「工場で使われるロボットを設計・製作できる人材の育成」を目指し、それに不可欠なコンピュータの活用技術をもとに機械分野、電気・電子分野を学びます。

また、私たちの生活や将来就く仕事の中で発生する問題や課題を自ら発見し解決できる力を育成し、オリジナリティのある発想をもとに、問題や課題を解決するものづくりを通して学びあう仲間とのコミュニケーションスキルを高め、一人の人間として自立した人材を育成します。

生徒の適性、興味、関心また多様化する進路希望に対応するため、2年生より専門科目を選択制とし、より深い専門性を追求することや、広く専門性を学ぶことで知的創造力を高め、技術・知識の習得、資格取得に全力をあげています。

また、社会人として要求される「課題や問題を自分で考え、行動し、解決できる人材」を育成するため、第一に、2年生で課題研究3時間、3年生で卒業研究3時間を実施します。この成果は各年3回の発表会を行ない、プレゼンテーション技術を含めた生徒の自主的な活動を養成します。第二に、知的財産権である特許権等の取得を目指す学習を通して、産業に対する実践的な知識と技術を活用する力を養成します。



ロボット技術の授業



特許申請に関する学習



産学連携（協働ロボット）



学校だより

ジャパンマイコンカーラリー2019

総合技術科 3年 清水 悠斗さん

私たちは、今回ジャパンマイコンカーラリー2019に参加させていただきました。私たちは、課題研究としてマイコンカーの製作をしました。初めて出場した、ひょうご産業教育フェアでは一位の組の人たちと10秒ぐらいの差があり、入賞することができませんでした。ひょうご産業教育フェアを終えて、改良を重ねて挑んだジャパンマイコンカーラリー近畿予選では23秒台のタイムを出すことができ全国大会に駒を進めることができました。ジャパンマイコンカーラリーでは、コースが当日まで発表されないということもあり一度も完走することができませんでした。

次にマイコンカーの製作をする後輩の子たちにはぜひジャパンマイコンカーラリーで完走してほしいと思います。



総合技術科 3年 高橋 龍成さん

私はジャパンマイコンカーラリーを通して何事にも臨機応変に対応することの大切さを知りました。ジャパンマイコンカーラリーの近畿予選ではコースを完走することができ良いタイムを出すことができました。ですが、全国大会ではコースが近畿大会よりも難しく完走させることができなかった。2回という限られた試走の中で脱輪する理由を分析しプログラムで修正するというのはとても難しかった。そして、その中でもコースを完走させることができている高校はとてもすごいと思った。この全国大会で臨機応変に物事に対応することは難しくとても大変なことだと思った。

最後に、私たちが全国大会に出場するうえで協力してくれた先生方や他のマイコンカー班に感謝したいです。

活躍する部活紹介

新聞部

私たち新聞部は現在3年生2名、2年生2名で活動しています。

主な活動は年2回の学校新聞の発行と、不定期で年間30号ほどの「西工新聞 Break Through」(突破口という意味)を発行しています。

体育大会や工業祭をはじめとする学校行事の写真撮影や、各行事の記事を書いています。最近では新聞部員コーナーを作り、生徒目線の記事も書いて新聞に掲載しています。

「Break Through」は中学校や学校周辺の地域の人たちにも配布し、西脇工業高校の活動を知ってもらえるようがんばっています。学校のホームページにも掲載しておりますので、是非一度ご覧ください。



空手道部

空手道部は現在男子5名、女子3名で活動しています。初心者ばかりですが、昨年度は、秋の東播総体での男女個人組手アベック優勝や男子団体組手準優勝に始まり、続く県新人大会では男子団体形で第5位に入賞して近畿大会出場を果たすなど、躍進の年となりました。今年度も、東播春季大会では女子が個人形・組手ともに優勝、男子も個人形・組手ともに第2位入賞、男子団体組手準優勝を果たすことが出来ました。現在は秋の東播総体の団体競技優勝や、近畿大会連続出場を目標に、日々練習に励んでいます。今後とも一層の努力を重ねていきますので、暖かい応援のほど、よろしくお願い致します。



野外活動部

今年の県総体は氷ノ山・鉢伏山系で開催され、悪天候の中、2泊3日の大会を10位で終えることができました。日頃の放課後練習は茜が丘の西側の山の尾根のトレイル・ランやマラソンで体力を鍛えています。週末には北播磨の山々に登り、キャンプや調理をしています。また、夏休みには北アルプスや信州の3,000m級の山に遠征合宿を行ったり、通学用自転車を使って淡路一周230kmのサイクリングに取り組んだりしています。

私たちの部活は季節や自然に親しみ、日常生活では体験できないことを経験できます。活動を通じて衣食住を含め一人で行動できる大人になることを目指しています。



男子バレー部・女子バレー部(初)が近畿大会出場!

2019年度近畿高等学校バレーボール優勝大会兼第72回近畿6人制バレーボール高等学校男女選手権大会

7月13日(土)

〈男子〉ペイコム総合体育館

1回戦 対 近代附属高校(大阪府代表)

0-2 (14-25, 17-25)

〈女子〉兵庫県立総合体育館

1回戦 対 建国高校(大阪府代表)

0-2 (15-25, 11-25)



女子バレーボール部

●第63回兵庫県高等学校総合体育大会バレーボール競技 ベスト20(特別推薦枠)

令和元年6月1日~9日 場所: 神戸支部高等学校の各体育館

●令和元年度近畿高等学校バレーボール優勝大会兼第72回近畿6人制バレーボール高等学校男女選手権大会 初出場

令和元年7月12日~15日

場所: グリーンアリーナ神戸、

兵庫県立総合体育



近畿大会の写真

この度、女子バレーボール部は、第63回兵庫県高等学校総合体育大会においてベスト20(特別推薦枠)に入ることができ、夢の舞台であった近畿大会に初出場することができました。礼儀作法を徹底し、試合に負け続けても諦めず目の前のボールを必死に拾い続けた結果だと思えます。新たな歴史を築くことができた女子バレーボール部に温かいご声援を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

平成30年度 部活動戦績

体育科

卓球部

〈第70回北播地区春季卓球大会・中大会〉

男子学校対抗1部 優勝 西脇工業高校A
 男子学校対抗2部 優勝 西脇工業高校C
 男子学校対抗3部 優勝 西脇工業高校E

〈第71回北播地区夏季卓球大会・中大会〉

男子学校対抗1部 優勝 西脇工業高校A

〈第1回西脇多可卓球大会〉

一般女子の部 優勝 星 実花

〈平成30年度東播高等学校秋季卓球大会〉

男子学校対抗 第3位 西脇工業高校

男子ソフトテニス部

〈平成30年北播磨春季ソフトテニス大会〉

男子団体 優勝 岸田・大久組
 準優勝 藤本・金川組
 第5位 角田・阿部組

〈東播秋季新人ソフトテニス大会〉

男子個人戦 第3位 竹本・大久保組

〈平成30年度兵庫県高等学校ソフトテニス中央新人大会〉

男子個人 第9位 大久保・竹本

柔道部

〈平成30年度春季東播柔道大会〉

男子団体 第3位 西脇工業高校
 男子90kg級 第3位 高瀬 宙
 男子100kg超級 第1位 中野 樹
 第3位 小嶋春樹

〈第46回東播磨健民柔道大会〉

一般男子・段外の部 第2位 長谷川晋一郎
 第3位 内橋秀太

空手道

〈平成30年度東播春季空手道大会〉

男子個人組手 第2位 福井 翔

〈第46回小野市空手道大会〉

女子個人形 第1位 辻 侑月
 女子個人組手 第1位 辻 侑月
 第2位 宮崎 稜

〈第17回猪杯空手道大会〉

男子個人組手 第3位 福井 翔
 男子団体組手 第3位 蓬萊聖那
 女子個人組手 第3位 宮崎 稜

〈平成30年度東播総体空手道大会〉

男子団体組手 第2位 福井・蓬萊・前田・伊藤・畑田・後藤
 男子個人組手 第1位 前田龍優
 第2位 福井 翔
 男子個人形 第2位 福井 翔
 女子個人組手 第1位 辻 侑月
 女子個人形 第3位 辻 侑月

男子バレーボール部

〈平成30年度東播高等学校バレーボール春季大会〉

男子 準優勝 西脇工業高校
 最優秀選手 岩崎義也

水泳部

〈第17回東播地区招待高等学校水泳競技大会〉

男子100m背泳ぎ 第1位 斎藤崇晟
 男子100mバタフライ 第2位 長濱温樹
 男子100m平泳ぎ 第2位 西山立樹
 男子200m平泳ぎ 第2位 西山立樹
 男子400mメドレーリレー 第3位 西脇工業高校

〈平成30年度東播高等学校総合体育大会水泳競技大会〉

男子総合 第5位 西脇工業高校
 男子100mバタフライ 第1位 長濱温樹
 第3位 西山立樹
 男子50mバタフライ 第2位 長濱温樹
 男子100m平泳ぎ 第3位 西山立樹
 男子400mメドレーリレー 第3位 斎藤・西山・長濱・堂下

陸上競技部

〈第66回兵庫リレーカーニバル〉

男子高校3000m 第2位 藤本珠輝
 第3位 酒井亮太

〈第71回兵庫県都市区対抗陸上競技大会〉

男子高校生以上5000m 第2位 吉井来斗

〈第58回東播高等学校陸上競技対校選手権大会〉

男子総合 第3位 西脇工業高校
 1500m 第1位 藤本珠輝
 第2位 庭野月颯汰
 第5位 吉川 陽
 3000m障害 第1位 酒井亮太
 第2位 吉井来斗
 5000mW 第3位 松本天翔
 5000m 第1位 藤本珠輝
 第2位 谷本勇陽
 第3位 平田恵太

〈第71回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会〉

男子総合 第3位 西脇工業高校
 男子トラック 第2位 西脇工業高校
 1500m 第2位 藤本珠輝
 第4位 庭野月颯汰
 3000mSC 第1位 酒井亮太
 第5位 吉井来斗
 5000m 第1位 藤本珠輝
 第2位 谷本勇陽
 第4位 平田恵太
 1500m 第7位 陰山朋佳
 第8位 南茉莉奈
 3000m 第6位 南茉莉奈
 第8位 雲丹亀美月

〈第86回兵庫県陸上競技選手権大会〉

男子5000m 第3位 松尾昂来
 男子少年B3000m 第2位 安藤優真
 第3位 田口文太

〈第71回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会近畿地区予選会〉

3000mSC 第3位 酒井亮太
 5000m 第3位 藤本珠輝

〈第70回兵庫県高等学校ユース陸上競技選手権大会〉

男子2年 第3位 西脇工業高校

男子2年800m 第1位 吉川 陽

男子2年1500m 第1位 吉川 陽
 第2位 谷本勇陽

男子2年3000m障害 第3位 宮永一輝

男子2年5000m 第3位 吉井来斗

男子1年1500m 第3位 藤本陽生

男子1年5000m 第1位 安藤優馬

女子2年3000m 第3位 雲丹亀美月

女子1年3000m 第3位 陰山朋佳

〈第71回東播高等学校体育大会陸上競技大会〉

男子1500m 第3位 田口文太

〈第73回兵庫県高等学校駅伝競走大会 東播地区予選会〉

男子総合 第1位 西脇工業高校
 酒井・庭野・吉井・藤井・片井・吉川・藤本
 東播地区予選会

〈第35回兵庫県高等学校駅伝競走大会〉

女子総合 第1位 西脇工業高校
 高瀬・雲丹亀・陰山・岡田・豊田

〈第73回兵庫県高等学校駅伝競走大会〉

男子総合 第1位 西脇工業高校
 藤本・吉川・酒井・谷本・庭野・松尾・平田

〈第35回兵庫県高等学校駅伝競走大会〉

女子総合 第2位 西脇工業高校
 雲丹亀・陰山・木下・岡田・高瀬

〈第69回近畿高等学校駅伝競走大会〉

男子総合 第2位 西脇工業高校
 酒井・吉川・藤本・谷本・庭野・吉井・藤井

〈第34回近畿高等学校駅伝競走大会〉

女子総合 第7位 西脇工業高校
 雲丹亀・木下・陰山・岡田・高瀬

〈第82回中国山口駅伝競走大会(高校の部)〉

高校の部 第3位 西脇工業高校
 藤本・藤井・谷本・吉井・平田・酒井・原塚

〈第11回西脇多可新人駅伝競走大会〉

男子県内の部 第2位 西脇工業高校A
 藤井・吉田・吉井・吉川・宮永・原塚・谷本
 第3位 西脇工業高校B
 京谷・田口・吉川・安藤・大道・岡田・寺下

文化部

吹奏楽部

〈第65回兵庫県吹奏楽コンクール東播地区大会〉

高等学校S部門 銀賞 西脇工業高校

家庭部

〈平成30年度北播磨酒の肴レシピコンテスト〉

グランプリ 吉川知里・藤井葵郷
 優秀賞 東 弥優・藤原 蒼

〈西脇レシピコンテスト〉

入賞 佐藤はるか・高瀬未来

進路指導部

西脇工業への求人が昨年より増加しました。8月31日段階で、管内(西脇・多可・加東・加西・小野) 224社(昨年より+9社) 県内(神戸・阪神・三木・加古川・丹波・姫路など) 257社(昨年より+29社) からの求人をしていただくことができました。県外からの求人を含めた総数は600人分、就職希望者で割った倍率は約4.5社です。

西脇工業生を欲しが的企业が多いです。その理由の一つは1万2千人をこえる卒業生の存在です。それぞれの職場における卒業生の方々の活躍や実績が「求人票」という形で現在の西脇工業生を支えています。

今年就職希望者は、142名(63%)です。女性活躍推進法が成立してから3年、製造業で活躍する女子生徒も増えています。

進学希望者は80名(38%)で、それぞれが希望に応じた進学先を見つけ、試験に挑戦しています。就職試験は9月16日にはじまりました。入学試験も10月以降本格化します。学校全体で3年生諸君を応援したいと考えています。

今後も地域に信頼される高校として努力する所存です。卒業生皆様のご理解、ご協力そして西脇工業へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、平成31年3月の卒業生(56回生)の主な就職先と進学先を掲載しておきますのでご覧ください。

【平成30年度 主な就職先】

《管内》 IDEC(株)、(株)アクシスマテリア、アスカカンパニー(株)、(株)アマダマシンツール、(株)アライドマテリアル、播磨製作所、(株)いけうち 西脇工場、伊東電機(株)、(株)稲坂歯車製作所、稲坂油圧機器(株)、エスケー化研(株) 兵庫工場、王子コンテナ(株)兵庫工場、(株)オーナーぱり、美容室おしやれキャット、(株)小野ダスキン、関西エナジス(株)、(株)協同工芸社、クワムラ食品(株)、JMACS(株) 兵庫工場(旧日本電線工業(株))、シミックファーマサイエンス(株)、社会医療法人社団 正峰会、社会福祉法人 みぎわ会 特別養護老人ホーム みぎわ園、新明和工業(株)流体事業部、スリーポンドファンケミカル(株)、千住金属工業(株)関西事業所、(株)ダイケン 兵庫工場、(株)大真空 西脇工場、築野食品工業(株)ヤシロ工場、(株)橋本バルクシステム 兵庫工場、(株)東播電工、日本鋳器製業(株)、長谷川工業(株) 西脇工場、パナソニック(株) アプライアンス社、パンチ工業(株)兵庫工場、(株)福電 西脇工場、藤井電工(株)、丸一調査設計(株)兵庫支店、みのり農業協同組合、ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ(株)、(株)LIXILサンウエーブ製作所、リコー電子デバイス(株)、YKKAP(株)四国製造所

《県内》 池田建設(株)、エア・ウォーター防災(株)、(株)MCエパテック、オークラ輸送機(株)、(株)大地農園、(株)カネミツ、川崎重工業(株)、川崎重工業(株)明石工場、一般財団

法人 関西電気保安協会、関西電力(株)、キャピラージャパン合同会社、(株)共立金製作所、極東開発工業(株)三木工場、近畿工業(株)、(株)きんでん、(株)クボタ、グローリープロダクツ(株)、(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所、(株)神戸製鋼所 高砂製作所、神戸電鉄(株)、(株)コベルコ科研、三精テクノロジーズ(株)、(株)JMUアムテック、新日鐵住金(株)鋼管事業部 尼崎製造所、新明和工業(株)パーキングシステム事業部、住友精密工業(株)、住友電気工業(株)伊丹製作所、(株)ソフト99コーポレーション、大地化成(株)、東芝三菱電機産業システム(株)、東洋電機(株)、西日本旅客鉄道(株)、日工(株)、日鉄住金テックスエンジニア(株)広畑支店、日本化学(株)姫路工場、日本ジャバラ(株)、日本通運(株)大阪支店、日本ピラー工業(株)、パナソニック ライティングシステムズ(株)春日工場、富士電機(株)神戸工場、フランスベッド(株)兵庫工場、(株)ヴィエリス、(株)ホンダ兵庫、丸紅ロジスティクス(株)、(株)Mizkan 三木工場、三菱重工業(株)神戸造船所、三菱電機(株)伊丹製作所、系統変電システム製作所、三菱電機(株)通信機製作所、三菱電機(株)姫路製作所、三菱マテリアル(株)三田工場、(株)モリタ、(株)森津工務店、大和製衡(株)

《県外》 (株)愛媛銀行、スタッフブリッジ、ダイハツ工業(株)本社、(株)デンソー、トヨタ自動車(株)、(株)美旺、(株)日立物流西日本、三井化学(株)大阪工場

【平成30年度 主な進学先】

《大学》 長岡技術科学大学 工、高知工科大学 情報学群、千葉科学大学、東京国際大学、駒澤大学、東海大学、日本体育大学、日本大学、神奈川大学、金沢工業大学、福井工業大学、京都産業大学、大阪学院大学、大阪芸術大学、大阪工業大学、大阪産業大学、大阪電気通信大学、関西外国語大学、関西福祉科学大学、

帝塚山学院大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸芸術工科大学、流通科学大学、兵庫大学、関西国際大学、姫路獨協大学、広島工業大学

《短期大学》 大阪夕陽丘学園短期大学、湊川短期大学

掲示板

NISHIWAKI TECHNICAL HIGH SCHOOL NEWS

平成30年度 緑窓会 会計報告書

収入の部 H30.4.1~H31.3.31

No	項目	収入金額計	日付	入金内容	収入金額
1	前年度繰越金			三井住友銀行2,808,365円、中兵庫信用金庫3,476,045円	6,284,410
2	入会金	9,489,342	4月5日	平成30年度入学生(3,000円×240名) 4月分(300円×240名) 三井住友銀行	792,000
3	会費		H29年4月~ H30年3月	在校生(準会員)より三井住友銀行 在校生(準会員)より中兵庫信用金庫	1,838,400 574,500
4	利息		9月16日、 3月17日	中兵庫信用金庫 利息15円(9/16)、17円(3/17)	32
収入合計					9,489,342

支出の部

No	項目	支出金額計	日付	出金内容	支出金額
1	饗別	38,000	4月20日	転・退職者饗別	38,000
2	事業費	2,557,722	4月12日	総会費	1,774
3			4月25日	役員会案内郵送料	820
4			4月25日	緑窓会ゴム印	2,376
5			4月25日	スタンプ台	734
6			4月25日	御祝袋	397
7			5月11日	ゴルフコンペ参加案内(参加書組合せ郵送料)	8,978
8			5月11日	ゴルフコンペ参加案内(案内状郵送料)	35,722
10			5月11日	第14回生繊維工学科同窓会祝い金	10,000
11			5月15日	ゴルフコンペ代金	9,852
11			5月17日	役員会用はがき代金	8,060
12			6月1日	ゴルフコンペ参加費	141,804
13			6月27日	2018年世界ジュニア陸上選手権大会出場祝い金(田中希実、三浦拓郎)	60,000
14			8月21日	8/6役員会案内郵送料	620
14			9月14日	フジ/展覧館/監製台 緑窓会負担金(PTA、クラブ後援会、緑窓会の3者負担)	500,000
16			9月19日	9/15役員会お茶代	624
17			10月24日	宮崎薫先生(情報・繊維科)への香料	10,000
18			10月29日	卒業記念品 印鑑代金(820円×225名)	184,500
19			11月15日	緑窓会会報 Vol. 12 代金	1,474,641
20			11月20日	男子陸上部 第69回全国高校駅伝競走大会出場祝い金	100,000
21	12月3日	ジャパンマイコンカー-2019大会 総合技術科2名 出場祝い金(図書券)	6,000		
22	2月13日	2/20役員会案内郵送料	820		
支出合計					2,595,722

差し引き金額(収入金額)9,489,342円-(支出金額)2,595,722円=6,893,620円

以上の通り報告いたします

平成31年4月13日 緑窓会会計 谷川 謙

監査の結果、通帳及び領収書・関係書類が適正に処理されていることを認めます

監査 足立 幸永
監査 足立 公夫

同窓会開催をサポートします!

対象者 西脇工業高等学校卒業生

条件 ①同窓会の開催(クラス単位・学年単位クラブOB会もOK!)

②開催後、会報に掲載しますので原稿(約400字)、写真をご提出下さい。

お申し込み・お問い合わせは、メールまたは西脇工業高校内同窓会事務局までお願いいたします。

原稿募集

会員の皆様から様々な原稿を募集いたします。

- ・同期会、クラス会、OB会の報告
- ・旅行記、修学旅行、入学式、高校時代の思い出
- ・卒業生のご活躍の方々、お店の紹介
- ・同期会等の開催告知 etc...

方法は、緑窓会事務局まで、郵送又はメールでお寄せ下さい。その際には、卒業年次(回)、クラス、住所、氏名(回生)、TELをお忘れないうお願いいたします。また、写真等もお送りいただけますと幸いです。尚、紙面の都合上、掲載できない場合もございますので、ご了承下さい。

[掲載申込 7月末まで]

各種同窓会開催を応援します!

今回の緑窓会会報は、2020年11月に会報の発刊を予定しております。開催時期により対象回生・クラスだけに返信ハガキ等も封入することも可能ですので緑窓会事務局までご相談ください。また、開催補助金も行ってあります。補助内容につきましては、事務局までご連絡下さい。同窓会の開催後は、開催様様の文章(400~600字程度)と写真とともに同窓会事務局へご報告下さい。次号緑窓会報へ掲載させていただきます。

申請内容: どういった同窓会か。(学年会、クラス会、部活動OB会etc...)

開催日時、開催対象人数(事務局で確認することも可能です)、開催場所。

編集後記

今年は、「天皇の即位」が5月1日にあり、年号が平成から令和に変わりいろいろな事を考えさせられる夏でもあったように思います。

今は、暑さも少し落ち着き秋を肌で感じるようになって来ました。

私たちの母校・西脇工業高校においては、今年も運動部・文化部・それ以外にも資格取得でも大活躍をしております。在校生の活躍は、

私たち卒業生にとっても喜ばしい知らせになっております。

この会報を通して、卒業生の活躍や同窓会の様子などを伝えて行けたらと思っています。様々な情報がありましたら、学校の同窓会事務局にお寄せいただきたいと思います。何卒ご協力をお願い致します。